

一般質問通告一覧

平成27年第2回島田市議会定例会
平成27年6月11日・12日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成27年6月11日(木)

6番	森	伸	一	議員(一問一答)	-----	1	
12番	佐	野	義	晴	議員(一問一答)	-----	2
5番	山	本	孝	夫	議員(一問一答)	-----	3
19番	八	木	伸	雄	議員(一問一答)	-----	4
1番	青	山	真	虎	議員(一問一答)	-----	5
9番	村	田	千	鶴子	議員(一問一答)	-----	6
11番	桜	井	洋	子	議員(一問一答)	-----	8

平成27年6月12日(金)

8番	清	水	唯	史	議員(一問一答)	-----	9	
7番	仲	田	裕	子	議員(一問一答)	-----	10	
4番	伊	藤		孝	議員(一問一答)	-----	11	
17番	大	石	節	雄	議員(一問一答)	-----	12	
2番	杉	野	直	樹	議員(一問一答)	-----	13	
3番	横	田	川	真	人	議員(一問一答)	-----	14

○一般質問の質問時間のめやす

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問	9:30	10:20	11:10	13:00	13:50	14:50	15:40
時間	~	~	~	~	~	~	~
	10:20	11:10	12:00	13:50	14:40	15:40	16:30

あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

1. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. リニア中央新幹線建設計画について

- (1) JR東海はリニア中央新幹線建設計画に伴い予想される流量減少対策として、導水路トンネル建設案を提示したが、市としてどのような対応を考えているか。
- (2) リニア中央新幹線建設について、静岡市は南アルプスの自然環境が破壊されることは譲れないと言っているが、島田市として独自の考えはあるか。

2. 4月に策定された島田市行政経営戦略について

- (1) 「行政経営戦略 行動計画」を別に策定するとあるが、具体的なスケジュールはどのようなになっているか。
- (2) 経営戦略の理念と地方創生関連の施策とは重複する点が多いが、どのように整理、区分けをするか。
- (3) 「市民協働の推進」の取り組みで、「市民の意見を行政に反映させる仕組みづくり」とあるが、どのような仕組みを考えているか。

3. 現在策定中の市の原子力災害避難計画について

- (1) 国が定める原子力災害対策指針では、防護措置について、事故時UPZ圏内は屋内退避、その後放射性物質が放出され、実測値が毎時500マイクロシーベルトを超えたら避難とあるが、島田市はどのような内容にするつもりか。
- (2) 安定ヨウ素剤の配布、服用を学校でも行える体制を考えているか。

2. 12番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. 新病院の建設と行財政運営及び執行体制のあり方について

地方自治体において、公立病院は重要な住民サービス施設の一つである。

しかし、少子高齢化に起因する諸問題や医療従事者の不足等からさまざまな見直しが行われているが、経営環境は厳しい。

こうした現況下、市が直面する新病院の建設問題は市にとって大きな政治及び経営課題であり、それだけに市民の関心も強い。

以上を踏まえ、以下質問する。

- (1) 新病院の運営に当たっての重要課題は何か。
- (2) 新病院建設基本計画の進捗状況とこれからの動向を伺う。
- (3) 新病院の建設が市の財政運営に及ぼす影響を伺う。

3. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 島田市の観光・産業施策について

島田市では財政にゆとりがない中、財政の立て直しのため国の地方創生施策のもと、地域の活性化を推し進めることで歳入の増につなげるとの発言が前議会であった。

また、しまだ大井川マラソン in リバティも観光課が担当することになり、交流人口を増加させ島田市の産業を活性化させようとする意図がうかがえる。

これらのことを踏まえ、以下質問する。

(1) 国の緊急経済対策として予算化された幾つかの事業のうち、販路開拓支援事業及び観光特産品開発支援事業について

- ① 市内事業者への周知はどのようにしたか。
- ② 手続き等のスケジュールはどのようになっているか。
- ③ 現在までの申し込み状況はどうか。
- ④ 経済効果はどのように判断するか。
- ⑤ 来年度も同様な国庫補助事業はあるのか。

(2) 大井川マラソンコースリバティを利用した事業とこのコースの整備について

- ① しまだ大井川マラソン in リバティの昨年までの経済効果をどのように調査し、結果はどうであったか。また、「全国ランニング大会100撰」に選ばれた理由は何だと考えているか。
- ② 同マラソン大会の今年度の実施に当たり、経済効果はどの程度を期待するか。
- ③ 同マラソン大会の今年度の実施に当たり、工夫や変更はあるのか。
- ④ 地域資源であるこのコースを利用した、オリンピック・パラリンピック合宿誘致についてどのように考えるか。
- ⑤ このコースを利用したイベントとして何か新しい企画はあるのか。
- ⑥ このコースの整備で今後何か計画はあるのか。

4. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

1. 富士山静岡空港新幹線新駅建設の対応について

- (1) 富士山静岡空港新幹線新駅建設について、市の現状認識を伺う。
- (2) 同駅を活用したビジョンを伺う。

2. 壊滅的な茶業について

- (1) 今年の一茶生産の状況に対する認識はどうか。
- (2) 茶農家への支援策を伺う。

3. 市の事業・備品等の発注について

- (1) 市の発注する事業・備品等が市の経済発展やひいては人口減少に影響するという認識を持っているか伺う。
- (2) 現在、市の発注する事業・備品等で市内業者が受注し易い条件となっていないものはないか。

5. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 川根地区の課題解決と未来ビジョン、また住民の貴重な交通手段の大井川鐵道はどうか

川根地区はその景観や人柄が遺産と呼ぶにふさわしい土地柄で茶業、林業が主要産業の山間地域であるが、後継者がいないことや産業の硬直化により新たな雇用が生まれない等、幾つかの根本的な部分で人をふやすことが難しい地域と言える。一方、資源として表に出ていないもので全国的・世界的に売り込める魅力が川根地区にはまだまだあふれている。願わくば川根地区の本領発揮を見たく、今行政がやるべきことは何かを議論していきたい。

- (1) 現況から見た30年後の川根地区はどうなっているか。またどうあってほしいか。
- (2) 金谷～川根間の国道473号線の整備を推進して観光客と安心安全を呼ぶ考えはないか。
- (3) 次世代のことを考えると山林は今後どのようにすべきと考えるか。
- (4) 住民の貴重な交通手段である大井川鐵道はどうか。
- (5) まだ発信されていない川根地区の魅力は見つかったか。

2. 在来作物やツキノワグマなど消えゆく命とどう向き合うか

- (1) 市内に生息するツキノワグマは何頭か。
- (2) 市内に残る在来種、固定種の農作物は現在幾つ確認されているか。

3. 今年が一番茶のキログラム平均価格、生産者の困り事、消費者が望む茶とは何かを問う

- (1) 今年の内市における一番茶のキログラム平均価格は過去5年と比べてどうだったか。
- (2) 消費者はどういう茶を望んでいるか。
- (3) 生産者が困っていることは何か。

1. 新市民病院建設基本計画中間報告の報道について

新市民病院は療養病床を整備しないとの新聞報道を読んだ市民からは“医療弱者切り捨て”等との不安の声が聞こえる。超高齢化や2025年問題を控えて、今後の国の動向としては確実に療養病床の縮減の方向に向かっていくことは認識している。しかしながら、今回の療養病床の廃止については基本構想策定の段階では明らかにされなかった大きな方針変更であることから、以下について当局の所見を伺う。

- (1) 療養病床を廃止するに至った経過と根拠は何か。
- (2) 2次医療圏内で調整を行ったか。
- (3) 代替機能は何を想定しているのか。
- (4) 療養病床の廃止は変形の敷地形形状等の敷地条件によるものなのか。
- (5) 市民の反対意見が多い場合は廃止の見直しを行うのか。

2. 大井川マラソンコースリバティの安全とマラソン大会について

健康増進志向の昨今、リバティの利用者も増大している。市民より一部の自転車の走行について危険であると指摘の声をいただき、再度、平時の安全について検証すべきではないかと考える。

また、来る10月25日に開催される第7回しまだ大井川マラソン i n リバティは第1回目から日本最大の市民ランナーポータルサイトの「全国ランニング大会100撰」に選ばれており、全国的に認知され人気の高い大会となってきている。染谷市長は昨年の大会の中で、日本一のマラソン大会にしていきたいと熱い思いを語っている。そこで、以下について当局の所見を伺う。

- (1) リバティの安全対策と利活用について
 - ① 危険走行を把握しているか。利用実態を伺う。
 - ② 現在、牛尾山掘削工事が進行中であるが、リバティが将来的に神座方面に延長される見通しについて伺う。
- (2) 第7回しまだ大井川マラソン i n リバティについて
 - ① 市長の目指す日本一のマラソン大会とは具体的に何か。
 - ② 前回の反省を踏まえ、改善した点は何か。
 - ③ 今回、新たな取り組みや、オール島田の大会になるように市民一丸となって参画するアイデア等の具体策はあるのか。
 - ④ 自然災害等の危機管理は万全か。

3. 学校現場における児童・生徒の支援体制について

特別支援員を必要とする児童・生徒数が年々増加している現状において、子どもの心に寄り添う支援員の養成が重要であると考えます。従来の特別支援教育の対象だけではなく、さまざまな障がいのある児童・生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難に対して必要な支援を行うことが求められています。こうした中、島田市においてはNPO法人もみの木と共催して、昨年度から学校教育支援員

養成講座を開催している。まさに特別支援教育推進の一環として静岡県で初めての取り組みであると大いに評価する。以下について当局の所見を伺う。

- (1) 当市の特別支援員の状況はどうか。
- (2) 当市の学校教育支援員の役割、機能に何を期待しているのか。
- (3) 学校教育支援員養成講座修了生の人材活用をどのように考えているのか。

7. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 放課後児童クラブの充実を

- (1) 市内の公設民営11カ所、公設公営2カ所、民設民営3カ所の定員と利用人数はどうなっているか。また、待機児童の実態はどうか。
- (2) 六合小学校区放課後児童クラブは公民館に併設されている。しかし、利用人数がふえ手狭になっている。六合小学校の地域連携室等を借用しているが、対策を伺う。
- (3) 川根小学校区の放課後児童クラブの開設計画はどうなっているか。
- (4) 開設時間が午後6時まででは迎えに支障をきたすことがある。開設時間の延長を実施すべきだがどうか。
- (5) 指導員の賃金を引き上げる等、待遇の改善を図るべきだがどうか。
- (6) 夏季休暇などの長期休みの生活が有意義なものであるために、お出かけ時の市のバス利用、プール、体育館等小学校の施設利用など便宜を図る必要があるが、その対応はどうか。

2. 浜岡原発の再稼働問題について

原子力規制委員会は、九州電力川内原発1、2号機、関西電力高浜原発3、4号機に次いで、四国電力伊方原発3号機についても規制基準に適合するとの判断を下した。「再稼働先にありき」だ。規制基準は安全基準ではなく、事故時の避難計画を審査対象にせず、自治体任せにしている。そこで、浜岡原発の再稼働に向けた動きへの市の対応について伺う。

- (1) U P Z (緊急時防護措置準備区域) 圏内の5市2町、県及び中部電力株式会社との安全協定締結への取り組みはどこまで進んでいるのか。また、島田市は何を主張しているのか。
- (2) 浜岡原発の再稼働について、県と11市町の事前了解が必要と考えるがどうか。
- (3) 静岡県はU P Z 圏内の避難計画について、500マイクロシーベルト毎時の放射線量に達するまで屋内待機としている。この放射線量は、2時間で1ミリシーベルト、1日で12ミリシーベルトもの被曝をする高線量だ。市民の生命と健康を守る立場からは到底許されない避難計画と考えるがどうか。
- (4) 市の具体的な避難計画の策定方法とスケジュールはどうか。
- (5) 浜岡原発は再稼働せず廃炉にすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

8. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 地域資源を活用した地域活性化の取り組みについて

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を財源に、地方創生先行型事業として地域資源を活用した交流人口拡大事業である「ようこそしまだへWELCOME事業」や、地域資源を活用した「観光特産品開発支援事業」の取り組みが実施されようとしている。

これらの取り組みでは、地域情報発信のインフラ整備や観光名所、農産物などを活用した観光特産品開発がその核となろうとしているが、市内の地域資源のうち文化的・歴史的資源も地域の活性化のためには有効であると考え、以下質問する。

(1) 文化財の指定とその保存の取り組みについて

- ① 市内に有する文化財の指定基準と、その指定の手順を伺う。
- ② 文化財には国・県・市指定文化財と登録文化財があるが、その違いを伺う。
- ③ 指定文化財及び登録文化財を市民にどのように広報しているか伺う。

(2) 文化財などの文化的・歴史的な地域資源の活用について

- ① 所有者と活用方法の意見交換をどのように実施しているか伺う。
- ② 所有者とその地元が有効活用する活動があるか伺う。
- ③ 観光資源としての活用をどのようにしているか伺う。
- ④ 市民とともにこれらの地域資源を活用する施策をどのように考えるか伺う。

(3) 大井川鐵道の文化的・歴史的な地域資源としての活用について

- ① 5月28日に再建策として政府系支援機関の地域経済活性化支援機構に事業再生支援を申請する方針が報道されたが、島田市としての考えを伺う。
- ② 天竜浜名湖鐵道を先例に、地域と鐵道が協働し有効的に地域資源として活用する考えを伺う。

9. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 農業を取り巻く課題について

平成26年度の茶価の低迷に茶生産者の混迷は大きく、生活そのものが懸念される不安定な年であった。

しかし、根気強い農民魂は「来年こそは。」の思いで茶園の管理を行ってきた。今年は天候にも恵まれ、お茶の製品は近年にない良質なできであり生産者の期待も高まったのだが、茶業を取り巻く平成27年度の見通しは予想以上に深刻さを増し、一番茶の収入はほとんどが1割減だったと思う。

昨年続く茶価の低迷は茶生産者の意欲さえも失うほどの結果であった。そんな悲惨な状況の中において、島田市では昨年と本年の2年間で農林水産大臣賞を3部門で受賞した。まさに、どん底での栄冠とも言える快挙だと思う。

根気強い農民魂が今後も継続することを心から願い質問する。

- (1) 全国茶品評会の深蒸し茶部門、静岡県総合茶園地共進会及び耕作放棄地発生防止・解消活動表彰で農林水産大臣賞を受賞したが、それぞれ受賞した理由を分析し、今後どのように生かすのか。
- (2) 農業を取り巻く課題を分析し、どのように市の施策として生かすのか。

2. 大井川鐵道の事業再生支援申請について

平成27年5月28日の静岡新聞夕刊及び5月29日朝刊に掲載された事業再生支援申請の件について、株主として、また、島田市の首長としてどのような考えを持っているか。

3. 深刻な道路整備事業について

昨年6月定例会の議案で社会資本総合整備交付金が大幅に減額補正された。今定例会においても社会資本総合整備交付金の大幅な減額に伴い、地方債として公共事業等債が補正計上されている。

この傾向は今後も続くと予想されるか。また、市として対応策を考えているか。

10. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. ICT化戦略について

(1) 地域おこしの観点から伺う。

- ① PR方法におけるICT活用状況はどうか。
- ② 通信インフラの整備計画をどのように考えているか。

(2) 障がい者等の福祉の観点から伺う。

- ① ICT活用の現状はどうなっているのか。
- ② 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に対してどのように考えているのか。

(3) 学校教育の観点から伺う。

- ① ICT教育導入の計画はどのようになっているのか。
- ② 小学生の携帯電話使用状況はどのような状態か。

2. 環境政策について

(1) 地球温暖化対策実行計画について

- ① 現状での目標達成度はどうか。
- ② 現状での「目標達成に向けた取組」の進捗度はどうか。

(2) 環境基本計画について

- ① 大井川においても、国とリバーフレンドシップ制度のような協定を結ぶつもりはないか。
- ② 庁内LED照明購入事業について
 - ア 事業の効果を伺う。
 - イ 今後の市の施設への導入計画はどうか。

3. 看護学校の教育環境について

- (1) 高度化する医療環境において設備の現状はどうか。
- (2) 学生の学習環境、生活環境はどうか。
- (3) 新校舎建設の予定はあるのか。

11. 17番 大石 節 雄 議員 (一問一答)

1. 過疎地域自立促進計画について

島田市は、今年旧金谷町と合併して10周年を迎え、旧川根町と合併をして7年目となる。この合併による市政、各地域の変化は当然起きてくる。島田市総合計画市民意識調査の中でも合併による効果、また、市当局の対応などさまざまな意見が出されている。それは、それぞれの地域の課題、市域全体としての課題等思いはこの島田市がより発展し住みやすい地域に進んでいくことを望んでの意見と受け止める。

そこで、その中においても過去何回も質問をしているが、さまざまな面において中心部とは違った環境に置かれている、また、歴史的にも日本の経済を支えてきた中山間地域の支援策である過疎地域自立促進計画のことについて質問する。

(1) 今年度策定予定の過疎自立促進計画の作成状況、また、計画内容について

- ① 具体的なスケジュールはどうか。
- ② 計画作成作業の中で中間報告的なものはあるか。
- ③ 市民から意見を聞くことや説明をする機会は設けるか。
- ④ 集落座談会、タウンミーティング、市民意識調査等市民の声をどのように反映するか。
- ⑤ 人口減少対策において定住促進施策は重要である。計画の中での位置づけはどうか。

(2) 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進に関する計画について

- ① 高速ブロードバンド整備の計画はあるか。
- ② 大井川鐵道が事業再生支援申請したことにより、市民の交通手段に影響は出るのか。

(3) 旧川根町と合併して7年、過疎地域を編入合併したということを踏まえ、今年10周年という機会に合併効果を検証してみたらどうか。

2. 公共施設の今後のあり方について

昨年度出された公共施設白書に基づいて、今後総合管理計画、再配置計画等が示されると思う。公共施設マネジメントについては広域的な検討をしているようであるが、島田市としての基本的な考えについて確認するとともに、現在の進捗状況、今後の進め方について質問する。

(1) 市民の安全安心確保のため、緊急性の高い施設については迅速に対応するものと考えているが、具体的にはどこか。

(2) 再配置計画について

- ① 基本的に長寿命化を図ることを目指すのか、それとも廃止を目指すのか。
- ② さまざまな公共施設の統合や合築、民間施設との合築などは考えているか。
- ③ 学校施設は最優先で計画的に改修が進められると思う。学校施設を地域コミュニティの核とするような考えはあるか。

12. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 島田市職員の福利厚生について

民間企業には社員の幸福度、モチベーションを上げるため、さまざまな福利厚生制度を設けやる気につなげている企業があるが、市の職員についても同じことが言え、幸福度、モチベーションの低下は仕事のやる気に大きく関係していると思われる。そこで以下伺う。

- (1) 島田市職員の福利厚生制度は民間企業と比べ充実していると言えるか。
- (2) 島田市職員のための福利厚生経費は他の市町に比べ十分と言えるか。
- (3) 島田市職員の職場環境に対する満足度はどれくらいと評価しているか。

2. 公共下水道事業について

島田市は公共下水道を保有する自治体であるが、そのサービスは島田市全域の市民が利用しているわけではなく一部地域の市民のみが利用している。そこで、今後の下水道事業の進む方向性について以下伺う。

- (1) 公共下水道の利用率は市全体で何%か。
- (2) 浄化槽、公共下水道それぞれ一世帯当たりの年間維持負担額はどちらのほうが大きい。
- (3) 島田市の下水道事業は何世帯が利用すれば損益分岐点に達するか。
- (4) 島田市の合併浄化槽普及率はどれくらいか。

13. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 子を持つ働く親の支援体制について

保育園では延長で最大19時まで保育する体制ができています。しかし、小学校に上がると放課後児童クラブは18時には終わってしまう。この1時間の差が「小一の壁」となり、保護者の仕事に支障が出るのではないかと懸念されています。この対策について伺います。

- (1) 保育園では働く親に対してどのような対策をしているか。
- (2) 学童保育の利用状況はどうか。
- (3) 小一の壁への対策はどうか。

2. インターネット環境の整備について

(1) 一人一台携帯電話を持っているのが当たり前になっている。各家庭にインターネット回線がつながっているのも当たり前の時代である。そのような中で回線の速度に地域差が生じている現状をどのように捉え、対策をするか伺います。

- ① 地域によって速度差があることについてどのように考えるか。
- ② 弊害があることを認識しているか。

(2) いつでもどこでもインターネットが使えることが定番になってきている。個人契約の回線ではなく公衆回線を利用した、公共施設でのWi-Fiの整備状況等市の考えを伺います。